

## 平成23年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月10日

上場取引所 大

上場会社名 ゴールドパック株式会社

コード番号 2589 URL <http://www.gold-pak.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員

(氏名) 菅澤 正嗣

TEL 03-3780-5648

四半期報告書提出予定日 平成22年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年1月期第3四半期の業績(平成22年2月1日～平成22年10月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第3四半期	31,579	9.6	1,654	73.6	1,541	80.4	949	87.7
22年1月期第3四半期	28,822	—	953	—	854	—	505	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第3四半期	322.21	—
22年1月期第3四半期	167.21	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第3四半期	25,630	10,725	41.8	3,666.17
22年1月期	22,806	10,014	43.9	3,309.93

(参考) 自己資本 23年1月期第3四半期 10,725百万円 22年1月期 10,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
23年1月期	—	15.00	—	—	—
23年1月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年1月期の業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,778	7.6	1,780	86.4	1,655	101.0	1,020	111.1	347.05

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年1月期3Q 2,925,522株 22年1月期 3,780,000株

② 期末自己株式数 23年1月期3Q 一株 22年1月期 754,478株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年1月期3Q 2,947,134株 22年1月期3Q 3,025,522株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年2月1日～平成22年10月31日)におけるわが国経済は、政府による経済対策効果を背景に一部業種で企業業績の改善傾向が見られたものの、依然として、失業率が高水準にあり、急激な円高進行等による影響も懸念されるなど景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりを背景に、業界全体の販売数量は、6月までは前年を下回る厳しい状況が続きましたが、7月以降は猛暑および残暑の影響により大幅に伸び、累計の販売数量は前年を上回る結果となりました。

このような状況下、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、積極的な営業活動に加え、猛暑効果により31,579百万円(前年同期比9.6%増)となりました。利益面におきましては、売上高の伸長に伴う利益率の改善に加え、全社的なコスト削減の実施により、営業利益は1,654百万円(同73.6%増)、経常利益は1,541百万円(同80.4%増)、四半期純利益は949百万円(同87.7%増)となりました。

各事業の業績は下記のとおりであります。

#### (受託製造事業)

受託製造事業全体の売上高は26,527百万円(前年同期比14.3%増)となりました。受託製造事業の容器別では、野菜飲料、コーヒー飲料およびその他清涼飲料の増加により缶容器飲料(同46.3%増)が大幅に伸長いたしました。また、野菜飲料が増加したことにより紙容器飲料(同18.0%増)が、茶系飲料が増加したことによりペット容器飲料(同6.1%増)が、それぞれ伸長いたしました。

#### (メーカー事業)

メーカー事業全体の売上高は5,052百万円(前年同期比9.9%減)となりました。メーカー事業の品目別では、野菜飲料(同11.7%増)は健闘しましたが、茶系飲料(同22.2%減)および果実飲料(同11.9%減)が大きく低迷いたしました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、商品及び製品、有形固定資産が減少しましたが、受取手形及び売掛金が3,800百万円増加したため、前事業年度末と比較して2,823百万円増加し、25,630百万円となりました。

負債は、長期借入金が返済により減少しましたが、未払法人税等や支払手形及び買掛金の2,794百万円の増加等により、前事業年度末と比較して2,112百万円増加し、14,904百万円となりました。

純資産は、自己株式の消却によるその他資本剰余金1,021百万円の減少、四半期純利益949百万円及び配当金の支払額119百万円による利益剰余金830百万円の増加、自己株式の取得及び消却による自己株式909百万円の減少により、前事業年度末と比較して711百万円増加し、10,725百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ168百万円減少し516百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,410百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

主な増加の要因は、税引前四半期純利益1,601百万円、減価償却費738百万円、仕入債務の増加額2,794百万円によるものです。主な減少の要因は、売上債権の増加額3,799百万円、法人税等の支払額468百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は177百万円(前年同期比47.4%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出162百万円等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,401百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入4,000百万円の増加に対し、長期借入金の返済による5,167百万円や自己株式の取得による112百万円の支出、配当金の支払による支出119百万円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は前年度に引続き中期経営計画（3ヶ年）に則り、収益性の改善を推進すべく、コストの削減ならびに生産性の向上等を推進してまいりました。

当第3四半期累計期間においては、積極的な営業活動に加えて猛暑効果の影響や全社的なコスト削減により、前回予想（平成22年9月9日公表）を上回る見込みとなったため上方修正しております。詳しくは別途開示いたしました「平成23年1月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」（平成22年11月26日公表）をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末における主な棚卸資産の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前四半期末に係る実地棚卸高を基礎とし合理的な方法により算定する方法としております。

②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を適用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	516,216	684,618
受取手形及び売掛金	9,811,358	6,010,490
商品及び製品	1,122,417	1,397,901
原材料及び貯蔵品	660,071	703,650
その他	378,988	246,042
貸倒引当金	△3,992	△2,500
流動資産合計	12,485,061	9,040,202
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,320,704	3,486,398
機械及び装置(純額)	2,419,096	2,795,035
土地	6,359,703	6,359,703
建設仮勘定	9,159	3,051
その他(純額)	290,857	336,967
有形固定資産合計	12,399,521	12,981,156
無形固定資産	171,371	218,026
投資その他の資産		
その他	581,300	590,892
貸倒引当金	△6,900	△23,892
投資その他の資産合計	574,400	567,000
固定資産合計	13,145,293	13,766,184
資産合計	25,630,354	22,806,386
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,681,013	4,886,222
1年内返済予定の長期借入金	1,574,000	4,954,000
未払法人税等	536,954	312,545
賞与引当金	268,210	116,592
その他	1,402,333	1,258,734
流動負債合計	11,462,512	11,528,094
固定負債		
長期借入金	3,318,000	1,105,000
引当金	115,419	148,065
その他	8,958	10,973
固定負債合計	3,442,377	1,264,039
負債合計	14,904,889	12,792,133

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	303,000	303,000
資本剰余金	178,540	1,200,231
利益剰余金	10,206,639	9,376,566
自己株式	—	△909,091
株主資本合計	10,688,179	9,970,706
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,286	43,546
評価・換算差額等合計	37,286	43,546
純資産合計	10,725,465	10,014,253
負債純資産合計	25,630,354	22,806,386

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年10月31日)
売上高	28,822,744	31,579,409
売上原価	25,227,363	27,317,034
売上総利益	3,595,380	4,262,374
販売費及び一般管理費	2,642,257	2,607,719
営業利益	953,123	1,654,654
営業外収益		
受取利息	474	139
受取配当金	2,506	2,599
受取開発料	4,155	—
保険配当金	—	6,217
空缶等売却額	—	5,346
その他	9,060	6,565
営業外収益合計	16,196	20,868
営業外費用		
支払利息	107,328	67,303
シンジケートローン手数料	—	57,896
その他	7,504	8,894
営業外費用合計	114,832	134,094
経常利益	854,487	1,541,428
特別利益		
賞与引当金戻入額	39,753	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	12,469
貸倒引当金戻入額	—	17,045
受取和解金	—	32,359
その他	8,819	—
特別利益合計	48,572	61,873
特別損失		
固定資産除却損	4,991	737
過年度消費税等	6,925	—
ゴルフ会員権評価損	—	775
その他	1,396	—
特別損失合計	13,313	1,512
税引前四半期純利益	889,745	1,601,789
法人税、住民税及び事業税	386,429	—
過年度法人税等	55,999	—
法人税等調整額	△58,588	—
法人税等合計	383,839	652,195
四半期純利益	505,906	949,594

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	889,745	1,601,789
減価償却費	897,794	738,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	497	△16,992
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57,929	151,618
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	647	△2,952
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,211	△29,694
受取利息及び受取配当金	△2,980	△2,739
支払利息	107,328	67,303
固定資産除却損	4,991	737
ゴルフ会員権評価損	775	775
売上債権の増減額 (△は増加)	△947,412	△3,799,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	168,203	319,062
仕入債務の増減額 (△は減少)	582,987	2,794,790
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,093	53,565
その他	132,718	83,002
小計	1,899,530	1,959,633
利息及び配当金の受取額	2,980	2,739
利息の支払額	△129,308	△84,135
法人税等の支払額	△44,405	△468,175
法人税等の還付額	21,964	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,750,762	1,410,062
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△282,675	△162,128
無形固定資産の取得による支出	△52,948	△13,727
投資有価証券の取得による支出	△1,461	△1,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,085	△177,326
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	—	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,057,000	△5,167,000
自己株式の取得による支出	—	△112,600
配当金の支払額	—	△119,520
その他	△1,791	△2,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,358,791	△1,401,136
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,885	△168,401
現金及び現金同等物の期首残高	527,924	684,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	582,810	516,216

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成22年3月31日開催の取締役会決議に基づき、平成22年4月1日付で市場より100,000株、総額112,600千円の自己株式を取得し、平成22年4月8日付で754,478株の自己株式を消却いたしました。

平成22年4月28日開催の取締役会決議に基づき、平成22年5月13日付で100,000株の自己株式を消却いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において、資本剰余金が1,021,691千円、自己株式が909,091千円減少し、当第3四半期会計期間末において、資本剰余金が178,540千円、自己株式の残高はありません。

#### 4. 補足情報

販売の状況

販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目名称		前第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年10月31日)	前年同期比 (%)
受託製造事業	ペット容器飲料	14,729,332	15,620,958	6.1
	紙容器飲料	5,272,829	6,220,739	18.0
	缶容器飲料	3,121,558	4,567,373	46.3
	その他	91,511	118,305	29.3
	小計	23,215,231	26,527,377	14.3
メーカー事業	果実飲料	2,645,394	2,329,756	△11.9
	野菜飲料	753,973	842,158	11.7
	茶系飲料	976,873	760,192	△22.2
	ミネラルウォーター	620,325	520,554	△16.1
	その他	610,945	599,369	△1.9
	小計	5,607,512	5,052,032	△9.9
合計		28,822,744	31,579,409	9.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。